

進学希望の生徒へ連絡

夏休みもほぼ半分が過ぎました。あと一週間近くの日程が残っています。夏休みが過ぎ、さらに9月、10月になると本格的な進学体制となります。それまでに志望校をきちんと決めておいて下さい。指定校推薦を利用する人はともかく、推薦入試など利用する人は志望校を2つ以上は決めておかないと心配です。推薦入試は必ず合格するとは限らないからです。進学関係の諸連絡は次のとおり。

① 指定校一覧（8月6日現在）の訂正版を印刷しました。担任の先生が持っています。

参考にして下さい。尚、中味については前回印刷した物とほとんど変わっていません。

② オープンキャンパス等利用して出来るだけ学校見学をしておいて下さい。説明会に

参加するだけでなく、学校の食堂でお昼を食べ、売店、特に書籍販売でどんな本を売っているか調べるだけでもその学校の雰囲気解り参考になります。

今年の私立大学は定員割れの学校が多くなっています。という事は、

大学名にこだわらなければ、進学希望全員が進学出来る事になります。これを「全入」と言っています。そこで大学選びのポイントを次にあげてみました。

1. 大学選びのポイントは「有名」より「自分に合っているか」

2. 「何処の大学を卒業したか」より「何が出来るか」

公務員の採用でも民間会社の採用でも、一律に行われる採用試験で一定の水準に達しないと採用候補にはなりません。一流大学を卒業しただけではダメなのです。当たり前ですが、以下、友人から聞いた興味ある体験談があるので紹介します。

① 諏訪の某一流企業の採用試験を受験した友人の話。採用試験は1泊2日で行われました。たまたま同室で宿泊した人が東京理科大学の工学部機械工学科4年の人でした。東京理科大学と言えば私立理科大学では超一流。そんな人が今頃になって分数の微分の公式を一生懸命覚えているのです。理数系の大学生にとって分数の微分の公式など常識中の常識。それこそ高校3年生の1学期に学習済みとなります。そんな姿を見て「東京理科大にもこんな人がいるのか」とびっくりしてしまいました。案の定その人は翌日に行われた採用1次試験で不合格になり姿を消してしまいました。

② 茨城県の高校の教員採用試験を受験した友人の話。友人の専門は工学部の電子工学でした。数学は専門外で自信が無いので理科で受験しました。ところが一緒に受験した人の中に東京工業大学の理学部物理学の学生がいました。東工大の物理学科と言えば日本を代表とする理数系大学で、校名を聞いただけで採用したくなります。友人は理科は専門外で、片や敵は物理の専門家で、受験前から勝負は決まっているかに見えました。いざ試験に望んでみると友人と東工大の彼は、たまたま隣り合わせの机で受験する事になりました。そして試験が始まって見るとそれ程難しい問題ではないのに彼は消したり書いたりを繰り返してそれだけで試験時間が終わった様子でした。4年間余程勉強して無かったのでしょうか。1週間後の2次試験に出席したら彼は姿を見せませんでした。

いずれも大学名だけでは通用しない事を証明する一コマでありました。

3. 資格を多く取得して就職時の採用試験に合格する事の方が大切です

高校、専門学校又は短期大学、大学、大学院、と、上へ行けば行くほど就職のための倍率とハードルが高くなり就職が難しくなります。

4. 地元上伊那では「一流大学文系卒」より「三流大学理科系卒」が有理

平たく言えば、事務職より現場で機械操作とメンテナンス担当職員を欲しいという事になります。ちなみに昨年度某市役所の事務系採用試験の倍率は50倍以上でした。